

2006(平成18)年度前期  
三重大学教育学部附属教育実践総合センター  
研究員・研究協力員とテーマ一覧

	氏 名	所 属	研 究 テ ー マ
1	◎ 平賀 伸夫	理 科 教 育	教育実践に関する研究
2	◎ 姉崎 弘 * 大原 喜教 * 藪岸 加寿子 * 森倉 千佳	障 害 児 教 育 三 重 県 教 育 委 員 会 津 市 立 教 育 研 究 所 桑 名 市 教 育 研 究 所	特別支援教育における就学支援システムの在り方に関する研究
3	◎ 姉崎 弘 石倉 裕晃 坂本 学 森井 博之 井上 泰之	障 害 児 教 育 附 属 養 護 学 校 附 属 養 護 学 校 附 属 養 護 学 校 附 属 養 護 学 校	授業における自閉症児の過ごしにくさの解消に関する研究
4	◎ 姉崎 弘 * 伊達 隆	障 害 児 教 育 松 阪 市 立 第 一 小 学 校	発達障害児に対する就学指導の在り方に関する研究
5	◎ 小山内 實 * 玉田 尚子	教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー 伊 勢 市 立 北 浜 中 学 校	物語としての児童の描画 ―自由画と課題画の共通性と違いを導きの糸にして―
6	◎ 佐藤 年明 * 伊藤 幸洋	学 校 教 育 東 員 町 立 笹 尾 東 小 学 校	メディア・リテラシー教育の教材開発と実践創造
7	◎ 林 未和子 吉本 敏子 * 吉岡 良江	家 政 教 育 家 政 教 育 津 市 立 香 海 中 学 校	中学校家庭科における生徒の学びを高める授業実践研究 ―出会いが生徒の内面に与える影響を中心に―
8	◎ 須曾野 仁志 * 萩野 真紀 * 高藤 裕之	教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー 津 市 立 芸 濃 中 学 校 津 市 立 芸 濃 中 学 校	中学校における情報機器を活用した教育推進&支援プロジェクト ～三重大学周辺の公立学校を中心に～
9	◎ 下村 勉 * 荻田 弘樹	教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー 四 日 市 市 立 八 郷 西 小 学 校	「スクイーク」を用いた授業実践の研究
10	◎ 下村 勉 * 大立目 佳久 * 荒木 淳司	教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー 三 重 県 総 合 教 育 セ ン タ ー 四 日 市 市 立 水 沢 小 学 校	情報教育化コーディネータの役割とその育成に関する実践的研究
11	◎ 栗原 輝雄 * 井坂 誠一	障 害 児 教 育 三 重 県 教 育 委 員 会	障害のある子へのパール・バックのまなざしと特別支援教育の今後への示唆
12	◎ 岡田 珠江 * 佐田 和美 * 福森 眞由美 * 伏見 洋子	教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー 名 張 市 立 つ つ じ が 丘 小 学 校 伊 賀 市 立 三 田 小 学 校 伊 賀 市 立 丸 山 中 学 校	保健室に来る子どもの心の支援に関する実践的研究(2) ～描画を用いたかわりを通して～
13	◎ 岡田 珠江 中川 敬子 * 松本 裕子	教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー 附 属 小 学 校 津 市 立 南 が 丘 小 学 校	学級集団に対して行うお絵描き遊びの心理的効果に関する研究
14	◎ 荒川 哲郎 布本 肇 * 青木 由美子	障 害 児 教 育 附 属 養 護 学 校 津 市 立 高 野 尾 小 学 校	特別なニーズのある児童への学習支援に関する研究
15	◎ 早瀬 光秋	英 語 教 育	英語教育における学習者のレベルに合ったe-learning環境の構築

◎研究代表者 \*研究協力員

2006（平成 18）年度後期  
三重大学教育学部附属教育実践総合センター  
研究員・研究協力員とテーマ一覧

	氏 名	所 属	研 究 テ ー マ
1	◎ 蓮尾 直美	学 校 教 育	学級社会における生徒との社会的距離に関する 教師の役割研究 ―潜在的カリキュラムの視座 から―
2	◎ 小山内 實 * 河口 恭子	教育実践総合センター 伊勢市立北浜小学校	子どもを元気づける諸法の吟味 ―症例を中心 に―
3	◎ 下村 勉 * 赤塚 美鈴	教育実践総合センター 三重県立津高等学校	学習支援用 Web ページの作成とその活用実践
4	◎ 須曾野 仁志 * 小山 史己	教育実践総合センター 津市立西が丘小学校	近隣公立小学校の教育活動を支援する ICT 活用 推進プロジェクト
5	◎ 岡田 珠江 * 久保 早百合 * 山田 忍 * 牧野 勢津子	教育実践総合センター 松阪市立西中学校（非常勤） 名張市立赤目中学校（非常勤） 松阪市立西中学校（非常勤）	スクールカウンセリングにおける学校支援のあ り方に関する研究

◎研究代表者 \*研究協力員